

# 東北地方 1か月予報

( 11月2日から12月1日までの天候見通し )

平成14年11月1日  
仙台管区気象台発表

## <特に注意を要する事項>

寒気の影響を受けやすく、気温が平年より低い日が多いでしょう。

## <予想される向こう1か月の天候>

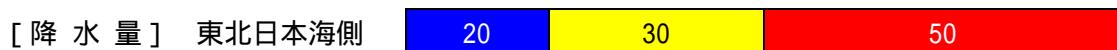
向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。

西高東低の冬型の気圧配置となる日が多く、東北日本海側では平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。東北太平洋側では晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の気温は低く、降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で少ないでしょう。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並が多い見込みです。

週別の気温は、1週目、2週目、3～4週目ともに低いでしょう。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

## <気温経過の各階級の確率(%)>



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

## <予報の対象期間>

1か月 : 11月 2日(土)～12月 1日(日)

1週目 : 11月 2日(土)～11月 8日(金)

2週目 : 11月 9日(土)～11月 15日(金)

3～4週目 : 11月 16日(土)～11月 29日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報 : 毎週金曜日 14時30分 次回は11月8日

3か月予報 : 11月20日(水) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温, 降水量, 日照時間と1週目, 2週目, 3~4週目の平均気温)

	気温( )	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温( )		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	8.1	101.2	138.6	10.2	8.9	6.9
新庄	6.1	194.5	61.1	8.2	6.9	5.0
若松	6.8	74.8	87.8	9.1	7.8	5.6
深浦	7.3	148.5	68.6	9.7	8.2	6.1
青森	6.3	131.3	89.1	8.7	7.1	5.1
むつ	6.1	115.3	104.3	8.4	6.9	4.9
八戸	6.5	60.5	135.9	8.8	7.3	5.3
秋田	7.5	185.9	82.5	9.7	8.3	6.3
盛岡	5.5	91.9	116.9	7.8	6.4	4.3
宮古	7.6	82.4	146.7	9.7	8.4	6.5
酒田	8.8	226.0	78.5	10.9	9.6	7.7
山形	7.0	78.5	98.6	9.2	7.9	5.8
仙台	9.0	64.0	140.6	11.1	9.8	7.8
石巻	8.2	63.9	148.8	10.5	9.1	6.9
福島	8.8	61.2	129.8	11.0	9.7	7.6
白河	7.4	62.8	147.2	9.7	8.4	6.2
小名浜	10.6	85.5	161.2	12.7	11.5	9.5

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはあります、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5~+0.6	80~107	96~105
東北日本海側	-0.4~+0.6	91~107	95~105
東北太平洋側	-0.5~+0.7	69~108	95~105

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+0.6	-0.6~+0.7	-0.6~+0.6
東北日本海側	-0.6~+0.7	-0.6~+0.7	-0.6~+0.5
東北太平洋側	-0.6~+0.6	-0.6~+0.6	-0.6~+0.6

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成14年11月1日 仙台管区気象台

## 1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(11月2日～12月1日)：

西高東低の冬型の気圧配置となる日が多く、東北日本海側では平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。東北太平洋側では晴れる日が多い見込みです。

平均気温は低いでしょう。

1週目(11月2日～11月8日)：

冬型の気圧配置が続き、東北日本海側では曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側ではおおむね晴れるでしょう。なお、明日(2日)から明後日(3日)にかけては荒れた天気となりますので注意して下さい。

平均気温は低いでしょう。

2週目(11月9日～11月15日)：

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側では曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では晴れる日が多い見込みです。

平均気温は低いでしょう。

3～4週目(11月16日～11月29日)：

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側では曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では晴れる日が多い見込みです。

平均気温は低いでしょう。

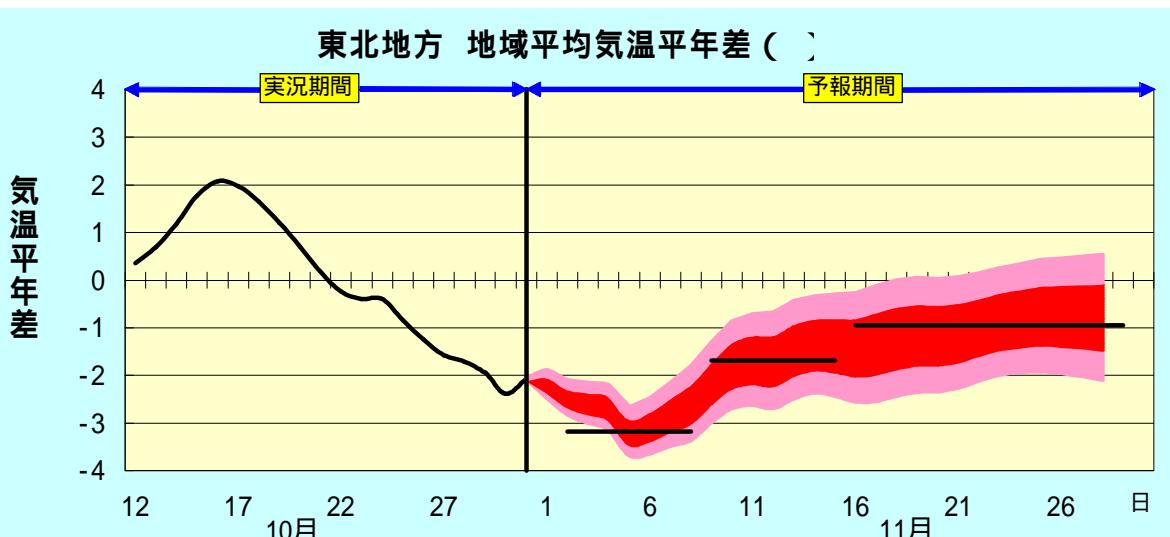
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	8.6日	3.1日	2.1日	3.4日
東北太平洋側	16.5日	4.5日	4.0日	8.0日

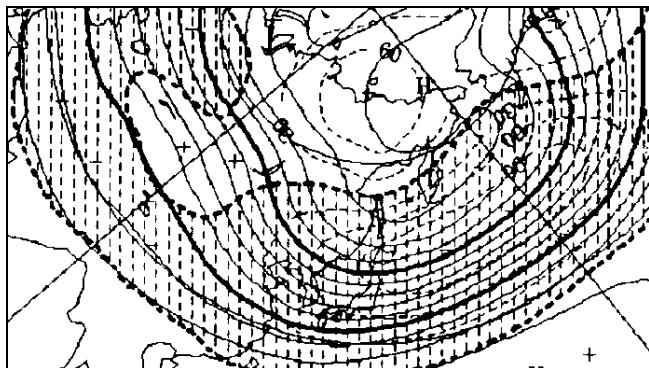
## 2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3～4週目ともに「低い」を予測している。

予報は、数値予報どおりとする。なお、数値予報の信頼度は大きい。



### 3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

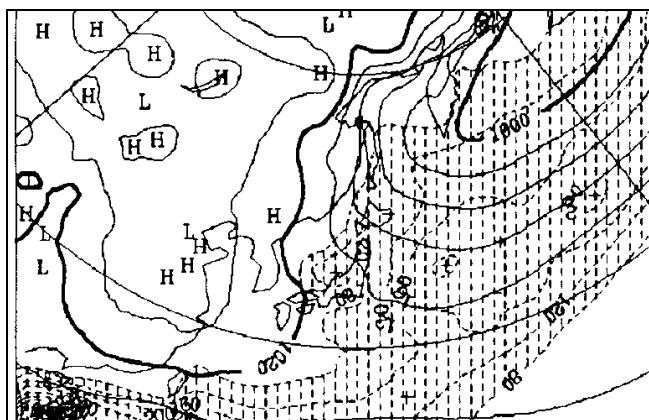


月平均の 500hPa 高度・偏差  
等高度線 : 60m 每、偏差 : 30m 每、陰影部 : 負偏差

#### 500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、シベリアから北極海に正偏差が広がり、極東中緯度帯は広く負偏差に覆われる。このため、東北地方は北からの寒気の影響を受けやすい見込み。

週別（図略）では、期間を通して極東中緯度帯は負偏差に覆われる予想。負偏差が特に大きいのは1週目。



月平均の地上気圧と降水量  
等圧線 : 4hPa 每、降水量 : 40mm 每、陰影部 : 80mm 以上

#### 地上気圧と降水量

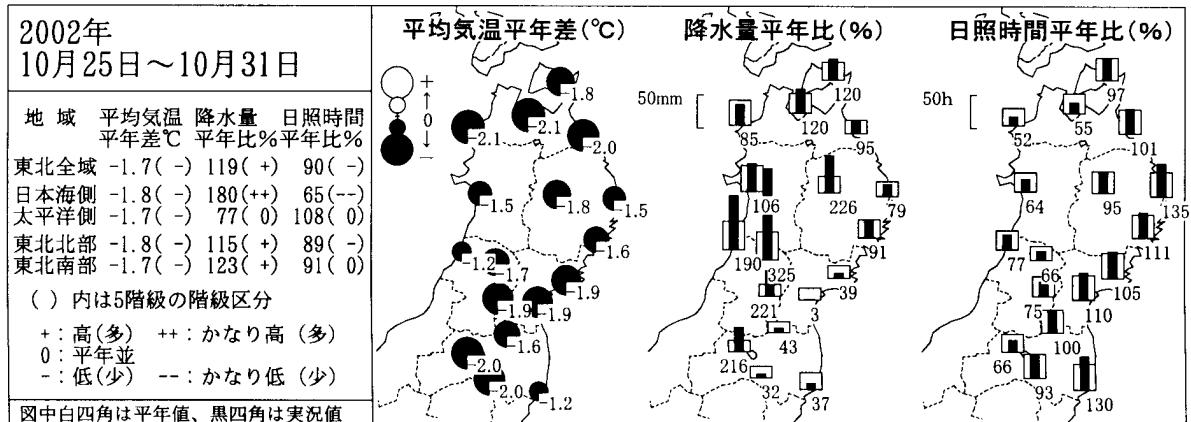
月平均で見ると、アリューシャン列島付近の低気圧は平年より強く、中国大陸の高気圧が東シナ海に張り出す。日本付近は冬型の気圧配置となる日が多く、日本海側を中心に降水域がかかる予想。

週別（図略）では、各週ともに西高東低の冬型の気圧配置となっている。特に1週目はカムチャツカ半島付近の低圧部が明瞭で、強い寒気が南下し荒れた天気となる日がある見込み。

### 4. 最近1週間（10月25日～10月31日）の天候の経過

この期間、26日に日本海と日本の南海上の低気圧が発達しながら日本付近を北東に進み、曇りや雨となった。低気圧の通過後は強い寒気が南下し、冬型の気圧配置が強まって東北日本海側を中心に荒れた天気となった。このため各地で初冠雪を観測し、28日には若松と盛岡で初雪を観測した。30日以降は、冬型の気圧配置が緩んで移動性高気圧に覆われたため、東北太平洋側を中心に晴れた。

平均気温は、東北地方で平年差-1.7と低かった。降水量は、東北日本海側で平年比180%とかなり多く、東北太平洋側で平年比77%と平年並だった。日照時間は、東北日本海側で平年比65%とかなり少なく、東北太平洋側で平年比108%と平年並だった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）